

平成29年度 第20回倫理審査委員会

開催日時：平成30年3月22日（木）14：00～15：30

開催場所：国立成育医療研究センター研究所2F セミナールーム

出席委員：斎藤委員長、奥山副委員長、石黒委員、五十子委員、神里委員、小林委員、  
左合委員、瀧本委員、松本委員、松谷委員、村島委員、横谷委員

審議課題数：33件（承認31件、条件付承認2件）

受付番号1436：炎症性腸疾患の小児患者における低亜鉛血症の実態の検討  
（迅速審査）

◆ 申請者：船山 理恵

◆ 申請の概要

低亜鉛血症は、体重増加不良、低身長、皮膚炎、貧血、易感染性、味覚異常など多様な症状を示す。長期の経腸栄養・静脈栄養管理が行われている小児では、そのリスクが高いと言われているが、炎症性腸疾患（IBD）の小児患者を対象とした疫学的調査はなく、その実態は明らかではない。本研究では、消化器科における血清亜鉛濃度の検査実績を用いて低亜鉛血症の発症割合および関連因子を検討し、その実態の把握を試みる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1720：パレコウイルス感染症における血液検査所見の経時的推移  
（迅速審査）

◆ 申請者：小川 英輝

◆ 申請の概要

パレコウイルスは新生児・早期乳児に敗血症性ショック様症候群、肝障害、血球貪食症候群などの重篤な感染症の原因となる。パレコウイルス感染症の発熱や皮疹などの臨床像の経時的変化に関する報告は散見されるが、血液検査所見の経時的な推移に関する報告は少ない。血液検査所見の経時的な推移を明らかにすることで、パレコウイルス感染症の経過の予測因子や、臨床的に注意すべき時期などの新たな知見を得る可能性がある。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1726：RSウイルス感染症による挿管患者に対する複合的アプローチ導入後の挿管期間の変化の検討（迅速審査）

◆ 申請者：林 健一郎

◆ 申請の概要

当院ICUでは挿管患者の挿管期間を短縮させるために複数のアプローチ（鎮静スケール、早期理学療法、High Flow Nasal Cannula）を導入してきた。RSウイルス感染症による挿管患者において、これらのアプローチ導入前後で挿管期間が短縮したかを評価することが本研究の目的である。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1728 : 上肢の関節拘縮で発見され、早期治療が奏功した少関節型若年性特発性関節炎の3例 (迅速審査)

◆ 申請者 : 安河内 悠

◆ 申請の概要

上肢の関節拘縮で発見され、早期治療が奏功した少関節型若年性特発性関節炎の患者を考察することは今後の診療の一助となる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1738 : 肝疾患を有する小児におけるカンピロバクター菌血症について (迅速審査)

◆ 申請者 : 小谷 晋平

◆ 申請の概要

当院において、2015年2月~2017年12月まで期間に、肝疾患を有しカンピロバクター菌血症を合併した患者の特徴を診療情報から考察することで、肝疾患を有する小児におけるカンピロバクター菌血症の予防および治療の改善の一助としたい。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1739 : 痙攣患者における簡易脳波検査の有用性の検討 (迅速審査)

◆ 申請者 : 高瀬 亮

◆ 申請の概要

痙攣患者において簡易脳波検査が有用か検討する。具体的には抗痙攣使用が簡易脳波検査導入後に減少したかを検討する。臨床症状のみの判断では非けいれん性発作や非けいれん性重積状態を見逃す可能性があり、また反対に痙攣発作でない症状を真の発作と誤認し、不要な抗痙攣薬を投与する可能性がある。神経専門医以外の医師による簡易脳波検査でも治療方針決定に有用であることを示せば、多くの施設にも応用できる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1745 : アンカリングバイアスの危険性について~ danger of anchoring bias-A case report~ (迅速審査)

◆ 申請者 : 岩井 謙治

◆ 申請の概要

救急外来で、悪寒戦慄があり救急搬送された患者が、初見の症状や周囲の流行から流行性耳下腺炎と診断された。しかし、後に虫垂炎による菌血症であったことが判明した症例について検討を行う。電子診療録より、臨床経過、血液検査、画像検査を抽出し、これらから得られる資料をもとに、バイアスにとらわれず、適切な診断を行う方法を検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定 : 承認

受付番号 1754 : ベッドサイドでの超音波検査が診断の契機になった先天性乳び胸の2例 (迅速審査)

◆ 申請者：安田 真人

◆ 申請の概要

成人領域で Point of care ultrasound は汎用されるようになってきたが、小児領域、特に新生児救急患者にはまだ広まっていない。Point of care ultrasound が有用であった 2 症例を診療情報より検討することにより、新生児救急にも Point of care ultrasound という考え方を広めることができる。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1756：胎児期の母体健康と小児白血病発症との関連についての大規模疫学研究（迅速審査）

◆ 申請者：半谷 まゆみ

◆ 申請の概要

小児急性リンパ性白血病（ALL）は、日本で年間数百人が罹患する疾患で、その発症には遺伝要因のほかに胎児期および出生後の環境要因の関与が示唆されている。しかし、希少疾患ゆえに大規模な疫学研究はほとんど行われていない。本研究では、複数国の症例対照研究のデータを統合して解析することで、特に胎児期の母体感染症や健康状態に注目し、小児急性リンパ性白血病発生リスクと関連する因子を同定することを目指す。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1758：小児固形腫瘍観察研究の網羅性向上のための研究（迅速審査）

◆ 申請者：瀧本 哲也

◆ 申請の概要

日本小児がん研究グループ（JCCG）の固形腫瘍分科会では、2011 年より小児固形腫瘍観察研究を実施していますが、残念ながら患者さんの把握は十分とはいえません。そこで国立がんセンターの承認を得たうえで院内がん登録のデータと比較することによって、小児固形腫瘍観察研究の登録の漏れを把握する研究です。これに基づいて追加登録をお願いすることによって、登録率の向上が期待されます。研究では疾患名と患者数を施設別に比較するだけですので、患者さん個人を識別することはありません。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1766：3 歳以下の乳幼児における頭部 Computed Tomography Angiography（CTA）の造影剤投与開始後から撮影までの至適タイミングの検討（迅速審査）

◆ 申請者：堤 義之

◆ 申請の概要

2014 年 8 月～2018 年 1 月までに当院で行った 3 歳以下の CTA(computed tomography angiography)における内頸動脈と上矢状洞内の造影効果を後方視的に検討し、造影効果に影響を及ぼす年齢や体重、静脈留置針の径、投与方法など対比して、患者の造影剤投与開始後から撮像までのタイミングを検討する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認
受付番号 1769：小児患児における肝特異性造影剤 (EOB: Gd-EOB-DTPA) を用いた胆道排泄の描出と肝機能との比較検討 (迅速審査)
◆ 申請者：宮坂 実木子 ◆ 申請の概要 菌血症は生命を脅かす感染症であり、慎重な検査、治療が必要です。成人では、特にグラム陰性桿菌菌血症においてフォローアップの血液培養の陽性率は低く、盲目的にフォローアップの血液培養をとるべきでないという意見があります。しかし、小児について検討した報告はありません。小児のグラム陰性桿菌菌血症の症例について診療録情報を振り返り、小児においてフォローアップ血液培養の削減が可能か検討し、検査の適正化につなげます。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 25：ヒト骨髄間質細胞・間葉系細胞システムを用いた細胞分化 (迅速審査)
◆ 申請者：梅澤 明弘 ◆ 申請の概要 2013年3月29日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間の変更についての可否。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 26：ヒト胎児繊維芽細胞を用いた細胞分化システムの確立 (迅速審査)
◆ 申請者：梅澤 明弘 ◆ 申請の概要 2013年3月29日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間の変更についての可否。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 27：ヒト脂肪前駆細胞への増殖因子遺伝子の導入と吸収性高分子支持体を用いた脂肪組織再生の試み (迅速審査)
◆ 申請者：梅澤 明弘 ◆ 申請の概要 2013年3月29日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間の変更についての可否。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 336：nBCA (n-butyl-2-cyanoacrylate)、リピオドール、タンタルパウダーを用いた中枢神経系血管奇形に対する血管塞栓術 (迅速審査)
◆ 申請者：堤 義之 ◆ 申請の概要

2013年10月2日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号572：日本小児炎症性腸疾患レジストリシステムの構築及びそれに基づく実態調査と自然史の解明のための研究（迅速審査）

◆ 申請者：新井 勝大

◆ 申請の概要

2012年10月2日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号590：特定非営利活動法人日本小児白血病リンパ腫研究グループ JPLSG の臨床研究 「小児ランゲルハンス細胞組織球症（LCH）に対するリスク別臨床研究 LCH-12」（迅速審査）

◆ 申請者：塩田 曜子

◆ 申請の概要

2012年12月5日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号661：難聴の遺伝子解析と臨床応用に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：守本 倫子

◆ 申請の概要

2013年4月3日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1009：小児における薬理遺伝的情報に基づいたワルファリン至適投与量設定基準の開発—多施設共同非介入観察型研究—（迅速審査）

◆ 申請者：小林 徹

◆ 申請の概要

2017年1月10日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、研究期間の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1352：新生児先天性横隔膜ヘルニアの治療標準化に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：甘利 昭一郎

◆ 申請の概要

2017年1月26日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、対象及び方法、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1360：妊娠糖尿病女性を対象とした糖尿病・メタボリックシンドローム発症予防のためのランダム化比較試験 パイロット研究

Prevention study of diabetes mellitus by intensive lifestyle modification in gestational diabetes mothers: Daisy M Study (迅速審査)

◆ 申請者：荒田 尚子

◆ 申請の概要

2017年1月30日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究期間、その他の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1439：牛乳アレルギー治療（経口免疫療法）に対する有効性検証試験

（乳酸菌発酵果汁飲料を用いた二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験－パイロット研究）（迅速審査）

◆ 申請者：大矢 幸弘

◆ 申請の概要

2017年4月28日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、研究協力者、対象及び方法の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1677：MIRAGE 症候群および関連疾患の自然歴と表現型スペクトラムに関する臨床研究（迅速審査）

◆ 申請者：鳴海 覚志

◆ 申請の概要

2017年12月4日付で倫理審査委員会にて承認された事項のうち、共同研究者、対象及び方法の変更についての可否。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1651：小児保健医療の医療経済評価に用いる健康効用評価尺度の開発研究（迅速審査）

◆ 申請者：蓋 若瑛

◆ 申請の概要

本研究は8-18歳の子ども・青少年を対象に無作為的に抽出した全国の小学校、中学校・高校で匿名化されたアンケート調査を実施する。①CHU9D及びEQ-5D-Y日本語版質問票の妥当性検討、②日本人子どもの選択的嗜好に基づいたCHU9Dの健康効用値換算表の作成、③国内で広く使われている小児QOL尺度のPedsQLとのマッピングを通して、日本国内に適用する子どもの健康効用評価尺度を開発する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1730：新生児医療領域でのシミュレーション教育に関する調査研究

(迅速審査)

◆ 申請者：甘利 昭一郎

◆ 申請の概要

より良い新生児医療を後世に伝えていく上でシミュレーション教育は重要な役割を果たすものですが、様々な問題により十分には普及していないのが現状です。本研究は郵送による質問紙調査とWebアンケートにより、新生児医療におけるシミュレーション教育の実態やニーズ、問題点を明らかにすることを目的としています。本研究を足がかりとして、新生児医療における教育の改善策を模索することが可能になると期待されます。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1748：ウェアラブルデバイス（ビジネス顕微鏡）による子どものコミュニケーション測定のための技術開発研究についての調査（迅速審査）

◆ 申請者：立花 良之

◆ 申請の概要

コミュニケーションや対人相互交流の内容を定量的に測定することが可能である名刺型のウェアラブルデバイス「ビジネス顕微鏡」を用い、自閉症児の療育効果を定量的に測定する技術を開発することを目的とする。国立成育医療研究センター通院中の児、及びSPARKに通所中の児を対象に、ビジネス顕微鏡によりコミュニケーションを測定し、ウェアラブルデバイスによる自閉症児のコミュニケーション測定の実行可能性について検証する。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号1759：タクロリムスの薬物動態予測モデルの作成と薬物動態における個体差の原因解明に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：阿久津 英憲

◆ 申請の概要

タクロリムスは臓器移植後に最も多く使われている免疫抑制剤です。タクロリムスは、体質によって必要となる投与量が大きく異なります。これは腸における薬の吸収・代謝などの違いが影響していると言われてはいますが詳細は分かっていません。この研究は、iPS細胞から腸を作成する技術を用いて、タクロリムスの体内での動きを予測する方法の開発、また、血中濃度に個体差が生じる原因解明を目指しています。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1760：超早期発症型炎症性腸疾患患者の内視鏡所見ならびに腸管病理所見の探索的検討（迅速審査）

◆ 申請者：新井 勝大

◆ 申請の概要

超早期発症型炎症性腸疾患（以下、VEO-IBD）は、診断と治療に苦慮する一群として、世界的に注目されている。近年、VEO-IBD の報告が増えているが、VEO-IBD 患者の特異的な内視鏡所見・腸管粘膜病理組織所見についての報告は少ない。そこで、本研究では、国立成育医療研究センター受診中の VEO-IBD 患者約 40 名を対象に、内視鏡・病理所見をシステムティックに後方視的に評価することを目的とする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1767：新たに開発された自動胚操作システム (IAEMS) の生殖補助医療への有用に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：齊藤 英和

◆ 申請の概要

卵細胞質内精子注入法 (ICSI) は、男性不妊もしくは受精障害を理由としそれ以外の治療によっては妊娠の可能性が無いか極めて低いと判断される夫婦を対象に行われる方法です。ICSI の成功率は胚培養士の技能習熟度による差がありますが、新しく開発された自動胚操作装置 (IAEMS) は半自動化により操作でき、より安全で的確な ICSI により臨床的に有用な可能性があるため、IAEMS の臨床応用を検討します。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1744：早産児の慢性ビリルビン脳症の実態調査（迅速審査）

◆ 申請者：寺嶋 宙

◆ 申請の概要

本研究は愛知医科大学による多施設共同研究の共同研究機関に当センターが加わる形で行う。早産児の慢性ビリルビン脳症（以下、本脳症）は診断基準が十分に確立していないため実態が明らかになっていない。本脳症は適切な管理によって発症を予防出来ると推定されるが、その危険因子が現時点で不明であり予防法が確立されていない。本研究では診断基準を明示して本脳症の全国調査を行い、その実態と危険因子を明らかにする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1747：放射線診療従事者の不均等被ばく、とくに水晶体の管理に関する実態調査（迅速審査）

◆ 申請者：黒崎 栄治

◆ 申請の概要

不均等被ばく管理しかしていない施設は水晶体等価線量評価がどの位過大評価、過小評価



となるか、また業務別に ICRP により新しく勧告されている水晶体等価線量限度を超える可能性があるか、超えないようにするためにどのような管理や対策が必要かをまとめる。

データは論文化し、診療放射線技師を含め、看護職等においても放射線診療従事者の不均等被ばく管理の重要性を証明するエビデンスとする。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1757：抗 GM-CSF 抗体陰性で血中・肺泡洗浄液中 GM-CSF 陽生の特発性肺胞蛋白症の発症に関連する遺伝子の解析（迅速審査）

◆ 申請者：樋口 昌孝

◆ 申請の概要

肺胞蛋白症は、肺胞腔内にサーファクタント物質が蓄積する病気で、小児では極めてまれです。この病気には成人に多い自己免疫性、血液疾患などに伴う続発性、それ以外の1%以下が生れたときから病気がおこる先天性があります。最近、先天性で GM-CSF の遺伝子に変化のあることが報告されました。この研究では、そうした患者さんについて、病気の発症に関連する遺伝子を調べて、診断・治療に役立てることを目的としています。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1761：本邦における小児期髄様癌、多発性内分泌腫瘍症（MEN）2型小児患者の疫学的調査および遺伝性甲状腺髄様癌摘出時期の検討（迅速審査）

◆ 申請者：綾部 匡之

◆ 申請の概要

小児期髄様癌、MEN2 の診療実態、病態調査を行う。研究デザインは集積症例数により記述研究またはケースコントロール研究とする。日本小児内分泌学会甲状腺委員会主導で日本小児内分泌学会及び厚労省難治性消化管研究班と連携し、小児内分泌学会評議員及び厚労省班員へ、20年以内の受診歴のある20歳未満のMEN2患者もしくはRET変異保有未発症者もしくは甲状腺髄様癌患者診療経験の有無を調査する。対象患者の診療録を基にした後方視的なアンケート調査を行う。本邦での甲状腺予防又は早期摘出の推奨時期を示す。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認

受付番号 1764：臓器移植における抗体関連拒絶反応の新規治療法の開発に関する研究（迅速審査）

◆ 申請者：笠原 群生

◆ 申請の概要

肝移植実施症例において、リツキシマブ（①術前感作症例に対する脱感作療法、②術後抗体関連拒絶症例に対する治療）により抗体産生担当細胞である形質細胞の前駆細胞であるBリンパ球を減少させることで、抗体産生を抑制し、抗体関連拒絶反応を回避あるいは軽減・治癒させることを計画している。

◆ 審議結果

上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。

◆ 判定：承認
受付番号 1779：胆道閉鎖症の病理学的検討（迅速審査）
◆ 申請者：北田 智弘 ◆ 申請の概要 胆道閉鎖症はいまだ原因不明の難病です。今回、移植時に摘出され保存している肝臓から胆道閉鎖症の発症原因を同定すべく、免疫染色などの方法で胆道閉鎖症肝の病理学的検討を行います。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1742：先天性横隔膜ヘルニアにおける遺伝的要因の探索（迅速審査）
◆ 申請者：和田 友香 ◆ 申請の概要 先天性横隔膜ヘルニアは家族内発症が知られており、遺伝学的原因が示唆されている。しかし現在までに明らかとなっていない。本研究は候補遺伝子検索と新しい原因遺伝子を明らかにすることを目的とする。原因を明らかとなれば患者の医療管理・予後の推定に役にたつと考えられる。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1763：骨・軟骨の成長の分子基盤探索（迅速審査）
◆ 申請者：深見 真紀 ◆ 申請の概要 組織（手術余剰検体）、唾液サンプルを用いて、遺伝子発現量解析や塩基配列決定、DNAメチル化解析、ゲノムコピー数解析などを行う。これによって、骨・軟骨の成長に関与する遺伝子ネットワークを解明する。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1768：SHOX 異常症の病態解明（迅速審査）
◆ 申請者：深見 真紀 ◆ 申請の概要 特発性低身長およびレリーワイル症候群の臨床検体を対象に SHOX 遺伝子コピー数解析やシーケンス解析を行う。SHOX 異常陽性者の臨床像を解析し、本症の診断の指標となる症状と臨床スペクトラムなどを明確とする。 ◆ 審議結果 上記課題に係る迅速審査結果の報告を受け、委員会として了承。 ◆ 判定：承認
受付番号 1783：肺胞蛋白症に対する全肺洗浄の際のフォガティースルールーメンカテーテルの使用（一般審査）
◆ 申請者：樋口 昌孝 ◆ 申請の概要 (1) 目的：肺胞蛋白症の治療としてフォガティースルールーメンカテーテルを使用して

全肺洗淨を行う。

(2) 対象と方法：

対象：当院で加療中の肺胞蛋白症と診断された2歳女児。

方法：全身麻酔・気管挿管下で本品により片肺をブロックし、生理食塩水を用いて全肺洗淨を行う。

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は委員長一任とする）

受付番号1794：顆粒球輸血（緊急審査）

◆ 申請者：加藤 元博

◆ 申請の概要

(1) 目的：当診療科にて急性骨髄性白血病に対し臍帯血移植後の2歳女児が、原疾患ならびに移植後の好中球減少の状態に敗血症に罹患し重篤な状態となっており、病状の改善を目的として顆粒球輸血を計画している。

(2) 対象と方法：

対象：

脳性麻痺などの疾患による重度の痙縮のために関節可動域制限や疼痛、変形や姿勢異常、介護困難を呈しており、リハビリテーションや装具療法、内服加療では効果不十分の患者。

方法：

手術室で全身麻酔をかけた上で、神経刺激装置を用いながら痙縮を起こしている筋肉を支配する神経周囲に5%フェノール液を注射する。

◆ 審議結果

本研究の医療・医学上の意義を認め、かつ倫理的に妥当と判断し、承認する。

◆ 判定：条件付承認（※修正確認は委員長一任とする）